



協会調査を報じた2022年5月14日付 京都新聞朝刊

# 第6波総括と感染拡大備える方策を

## 施設入所高齢者らの死亡事例受け府に要請

協会は5月16日、京都府に要請書「新型コロナウイルス感染症対策について」の真摯な中間総括とさらなる感染拡大に備える方策の具体化を求める」を提出し、京都府議会各会派にも要請書を届けた。

今回の要請は第6波(2021年12月21日~22年3月31日)において375人、第5波の7倍とされる死亡者が記録され、うち60歳以上が360人(96%)を占める実情(4月28日付京都新聞報道)を受け、高齢者や障害のある人

は独自に病院および施設を、対象にアンケート調査を実施。高齢者や障害のある人

が人とする施設では陽性となった方が入院できず、施設療養を求められ死亡するという、あつてはならない事例が多数確認された(関連3面)。このアンケート結果は、5月14日付で京都新聞が「新型コロナウイルス第6波 急変、入院できず死亡15人」として大きく報じた。20日に朝日も報道。

調査結果を受けて、協会は京都府に対し、「必要な医療につながることで、いけば回避することができた可能性がある死は、すべ

て政策による死であり、高齢者はハイリスクであるという基本を無視した結果」と厳しく指摘し、以下について要請した。

①保健所はじめ行政機関・受入病床・臨時的医療施設等の社会資源の総量・人員体制の公的責任に拠る拡大

②第6波における高齢・障害等の入所施設における発生状況、入院可否、重症化・死亡の状況等の公表

③新型コロナウイルス感染症対策「専門家」会議の機能強化  
i 開催状況、議事録の原則公開  
ii 感染症を専門とする医師・医学者・研究者等の補充

④実際に確保されている病床数の公表。臨時的医療施設110床のフル稼働に向けた府からの医師・看護師の常駐強化と府内医療従事者への出務要請、介護職の確保

⑤高齢・障害等の入所施設における陽性者は「COVID-19診断の手引き」に則り、原則入院。高齢者であることや障害のあることをもって入院の対象から外さないこと

⑥入院しつつ迫時の高齢・障害等入所施設への府からの医療チーム派遣、治療薬投与も含めた治療の実施。医療チーム派遣申請も含めた窓口の設置

⑦宿泊施設療養で必要な医療が提供できるようにすること

⑧保健所のひっ迫を理由に入院・外来医療につながらない事態が発生しないよう、陽性と診断した医師が初期治療・健康観察を行うことを原則化。それに伴う「新型コロナウイルス感染症に係る訪問診療等協力医療機関」への協力金増額

# 主張

今般のロシア軍によるウクライナ侵攻で特徴的なのは、軍事的施設にとどまらず病院、学校などの民間施設や一般市民が攻撃の対象となり、ジェノサイド(集団殺害)の様相を呈していることである。

我々は従来、生存権、自由権などの基本的な人権を当然の権利とみなしてきたが、ロシアではこの点で我々とは異なる価値観が採用されているようだ。ロシアの権力者にとっては人の命の重

さは我々が考えるほど重くはないのかもしれない。そしてそのことを承知しているロシアの指導者は、核兵器使用をほのめかしたと

るべき対応にはどのようなものがあるだろうか。まず2月28日、保団連会長名で素早く抗議声明がマスコミ各社に発出された。

さらに軍事行動の影響でサイバーテロが広がり、医療現場に、さらなる混乱をもたらす。物流の停滞や価格変動は医薬材料等の供給不足を招きかねず、実際

行動はコロナ対応を含めた医療現場に、さらなる混乱をもたらす。物流の停滞や価格変動は医薬材料等の供給不足を招きかねず、実際

さらに軍事行動の影響でサイバーテロが広がり、医療現場に、さらなる混乱をもたらす。物流の停滞や価格変動は医薬材料等の供給不足を招きかねず、実際

さらに軍事行動の影響でサイバーテロが広がり、医療現場に、さらなる混乱をもたらす。物流の停滞や価格変動は医薬材料等の供給不足を招きかねず、実際

# 世界に混乱もたらす軍事侵攻 基本的な人権の尊重共有を

き、西側陣営は生命を重要視するあまり、参戦してこないだろうと考えたのかもしれない。この軍事侵攻で我々が

京都府保険医協会も3月2日付で駐日ロシア大使館あてに抗議談話を送付した。またコロナ禍で多くの人が苦しんでいる最中の軍事

シリアコンカテールや歯科領域で使われる金属パラジウムの仕入価格は高騰している。今後の行方を注視する必要が

このようなか、国民の年金資産を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が、国際法で禁じられている兵器「クラ

スター弾」の製造企業の株式を保有していることが明らかとなった。クラスター弾はその非人道性から2010年に禁止条約が発効、日本も署名している。ロシア軍がクラスター弾を使用していることされる中、協会が求められる。インボイスを発行するために消費税課税事業者になるか廃業するかの選択を迫られる▼いず

これら問題に際しては、今後適時的確に対応して発言力の低下が危惧され注意が必要だ。(内)

政府の答弁などでよく聞かれる言葉で、個人的に非常に気になるのが「想定外の事態」議論する状態ではない。どんなことも議論は常にしてみたいと思うが、その一方でいざ議論が始まると結論ありきで、遮り無二その結論にされてしまつてしまうことが多い。もっとフラットな状態から議論ができないものだろうか。ただし、我々国民も議論が下手だ。昔から知らない人と政治の話と宗教の話はすると言われている▼ロシアとウクライナが紛争状態になっているが、日本の国防についても国民的議論が必要だ。改憲賛成派軍国主義、護憲派反日のようなステレオタイプを決めつけではなく、いろいろな考え方を認めて議論することが必要だろう。どきどき紛れの改憲議論はごめん▼話は大きく変わるが、気になることといえばインボイス制度が2023年10月から始まる。開業医への直接的な影響はほとんどないと考えているが、この制度により個人商店や個人タクシーなどの消費税の仕入税額控除を要する顧客を持つ個人事業主は、小規模であってもインボイスの発行が求められる。インボイスを発行するために消費税課税事業者になるか廃業するかの選択を迫られる▼いず

これら問題に際しては、今後適時的確に対応して発言力の低下が危惧され注意が必要だ。(内)



購読料 年8,000円  
送料共 但し、会員は会費に含まれる  
発行所 京都府保険医協会  
〒604-8162  
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637  
インターナショナルビル9階  
電話 (075) 212-8877  
FAX (075) 212-0707  
編集発行人 花山 弘

主な内容	
改定「こころみる」(小児科・産婦人科)	(2面)
地区との懇談(福知山)	(2面)
コロナ第6波影響調査	(3面)

ご用命はアミスまで  
◆医師賠償責任保険  
◆休業補償制度(所得補償、傷害疾病保険)  
◆針刺し事故等補償プラン  
◆自動車保険・火災保険  
☎075-212-0303

### 高齢者・障害者施設におけるコロナ患者留置問題を考える 第1回ミーティング

## 府内の開業医、入院医療機関、高齢者施設、医療・社会保障関係団体の方が対象です!

日時 6月18日(土) 午後2時~4時

- 内容 ①「第6波」の実態調査報告  
②現場の実態報告(開業医・病院・施設等)  
③研究者のコメント  
④アピールの採択

形式 Zoomミーティング 参加費 無料(要申込)

問合せ先 京都府保険医協会事務局

申込方法 6月14日(火)までに下記フォームよりお申し込み下さい。

Zoom招待状は開催の2日前までにお送りします。

<https://forms.gle/wtdE7c9c65CRLHhr6>

社会福祉法人七野会  
京都民主医療機関連合会  
京都社会保障推進協議会  
きょうざれん京都支部 京都府保険医協会



政府の答弁などでよく聞かれる言葉で、個人的に非常に気になるのが「想定外の事態」議論する状態ではない。どんなことも議論は常にしてみたいと思うが、その一方でいざ議論が始まると結論ありきで、遮り無二その結論にされてしまつてしまうことが多い。もっとフラットな状態から議論ができないものだろうか。ただし、我々国民も議論が下手だ。昔から知らない人と政治の話と宗教の話はすると言われている▼ロシアとウクライナが紛争状態になっているが、日本の国防についても国民的議論が必要だ。改憲賛成派軍国主義、護憲派反日のようなステレオタイプを決めつけではなく、いろいろな考え方を認めて議論することが必要だろう。どきどき紛れの改憲議論はごめん▼話は大きく変わるが、気になることといえばインボイス制度が2023年10月から始まる。開業医への直接的な影響はほとんどないと考えているが、この制度により個人商店や個人タクシーなどの消費税の仕入税額控除を要する顧客を持つ個人事業主は、小規模であってもインボイスの発行が求められる。インボイスを発行するために消費税課税事業者になるか廃業するかの選択を迫られる▼いず

# 難病等の児童の情報提供が評価へ

## 小児科 東道 伸二郎

少子高齢化が現実味を帯びてくる以前から、日本小児科医会は乳幼児のワクチンや健診、子どもの心の問題等に関する医師の診療行為を保険診療で請求できることを要望してきた。多くは重要な医療行為であるが、時間と労力を要する割に保険診療として請求できないものもほとんどで、看護師や他のスタッフに煙たがられながら続けてきた。この状況が改善し始めたのは、2020年度の改定「小児かかりつけ診療料」と「医療機関と連携の上、患者

が受診している医療機関を全て把握することも、必要に応じて専門的な医療を要する際の紹介等を行うこと。ウ、患者について、健康診査の受診状況および受診結果を把握することも、発達段階に応じた助

2022

## 診療報酬

### 改定こうみる

5

言・指導を行い、保護者からの健康相談に応じることが。エ、患者について、予防接種の実施状況を把握することともに、予防接種の有効性・安全性に関する指導やスケジューリング管理等に関する指導を行うこと。オ、当該診療料を算定する患者からの電話等による緊急の相談等に対しては、原則として当該保険医療機関において、常時対応を行うこと。

# 不妊治療が保険収載されたものの制限も

## 産婦人科 井上 卓也

アは別として、イ、ウ、エは診断と治療を中心としている従来の保険医療とは異なる。これらは日本小児科医会が主張してきた小児科医会が主眼とした小児科のワクチンやその他の保健指導も医療保険適応となることと、医療的ケア児においては連携先も医療機関で

はなく学校にも情報提供料が請求できるようになったことが示された。22年の改定では、小児の夜間・休日診療所を運営している京都府医師会の会員が開設する普通の小児医療機関であれば、普通に取得可能な「時間外対応加算3」を申請したのち「小児かかりつけ診療料」を申請すればよいことになる。結果として「時間外対応加算3」を申請しない医療機関でも、同様の診療内容で「小児科外来診療料」や初再診料が算定できることが示されたと考えられる。イ

決定された「少子化社会対策大綱」の中で謳われたものであるが、その後菅政権が発足すると、その目玉政策として実現が急がれ22年度改定での保険収載となった。体外受精は、83年に本邦で第一例の児が誕生して以降急速に広まっていった技術である。19年には全出生数の中で16人に1人は体外受精による児となっており、体外受精は不妊に悩むカップルに対する治療法の一つとして確立されている。これまでは、助成金制度はあるものの全額自己負担で受ける必要があったため、子どもを望むカップルにとつて経済的負担となっていた。その意味では、これまで費用面で躊躇していた患者が、保険適応で治療が受けやすくなることは朗報であろう。

また、生殖補助医療の保険算定要件は複雑である。例えば、治療開始日の年齢が40歳未満の場合には6回まで、43歳未満の場合には3回までなど、算定には年齢制限や回数制限を伴う。法律婚でなくても実施は可能であるが、法律婚以外の場合には、重婚でない、同一世帯である、認知の意向を確認する必要がある。他院からの転院などの際には、医療機関でこれまでの治療回数などを確認する必要があるが、治療後に適応外であったことが判明する可能性もあり、算定要件が複雑であるが故の混乱も予想される。

# 福知山医師会との懇談

## 3月12日 ウェブ会議 国の誤った政策に対し協会から反論を

協会は3月12日、福知山医師会との懇談会を地区から4人、協会から6人の出席で開催した。冒頭、井上昇会長より、コロナ関連や診療報酬改定など協会に色々とお教えいただきたいとあいさつがあった後、協会・鈴木理事長よりあいさつ。続いて「2022年度診療報酬改定」について、この中での議論が「新型コロナウイルスを取り巻く課題と今後の医療提供体制」について協会より説明。各部署から情報提

供の後、意見交換した。地区より「医療について議論する場に経済界の代表を入れ、政策が財政主導になっていることは問題だ。日本の病院は経済的に追い詰められている。また、マスコミは『民間病院がコロナ患者を診ていない』などとバッシングする。協会は反論してほしい」と述べた。これについて協会は「以前は改定率を中協協で決めていたが、今では厚労省と財務省の大臣折衝で決めている。最近では財務省の方

から先にリフィル処方や、湿布薬の制限などを決めて中協協に認めさせた。この流れを変えないと我々医療機関は診療報酬改定を通じて窮地に追いやられる。協会は問題ごとに要請していく」と回答。また、地区より「国の借金が1000兆円を超えるといわれるが、そのほとんどを国内金融機関が国債で保有している。しかし財務省は、借金を返さねばならないので医療費を抑制する」とマスコミを含めて言っている。この論



理で攻撃されるのは医療界だ。協会が反論していただきたい」と述べた。これに対し協会は「こうした国・財務省の主張や動きをどう捉えるか、原子力発電が温暖化抑制に役立つという意見もあるが、一方で原子力の持つ厄介な問題がある。京都でできるレベル、国レベル、地球レベルと、それぞれ議論をすすめる必要がある」と述べた。また国際情勢に関連して「ロシアは核兵器の使用をちらつかせ、原子力発電所の攻撃など、とんでもない行動に出ている。福島原発事故に、根本的に処理が

2021年度地区医師会との懇談会は、3月12日の福知山医師会との懇談をもつて予定を終了しました。21年10月から開始した20地区医師会との懇談。その中でいただいた協会の活動に対する多くのご意見は、今後の活動に生かしていきたいと存じます。

大きな、対象も文字通り学校、保育所、児童相談所等に拡大された。新型コロナウイルス感染症の流行期と出生数の減少で苦境に立たされた小児科医側から見れば、今回の改定でこれまで無料でやってきた仕事の一部が保険診療で認められたとも考えられ評価できる内容である。今回の改定で患児の受け

る恩恵は大きいですが、財政難の京都市では3歳以上15歳未満の子どもの医療費補助が少なく(自己負担、月1500円以上で公費負担)、患児家族の負担増につながり、京都市では同時に小児の医療費の公費補助を増やす必要があると思われる。また、生殖補助医療の保険算定要件は複雑である。例えば、治療開始日の年齢が40歳未満の場合には6回まで、43歳未満の場合には3回までなど、算定には年齢制限や回数制限を伴う。法律婚でなくても実施は可能であるが、法律婚以外の場合には、重婚でない、同一世帯である、認知の意向を確認する必要がある。他院からの転院などの際には、医療機関でこれまでの治療回数などを確認する必要があるが、治療後に適応外であったことが判明する可能性もあり、算定要件が複雑であるが故の混乱も予想される。

### 針刺し事故等補償プラン

#### ゴルファー向け保険

本紙とともに案内パンフレットをお届けしています  
ぜひご加入をご検討下さい

京都府医師会

# コロナ「第6波」における影響調査 入院ひっ迫と留置かれた施設の实情明らかに

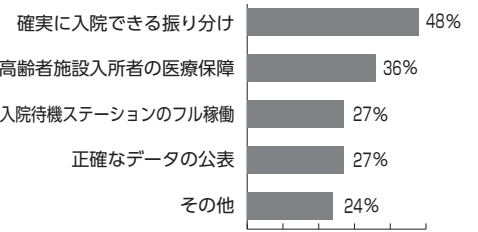
3割が確保病床数を  
超えて受け入れ

影響調査を4月13日から25日にかけて実施した。

コロナ患者受入病院について、病床使用率ピーク時(2月27日に75・2%)の50病院を対象にファクスで実施し、33病院(66%)から回答があった。厚生労働省の公表資料によると、京都府は50病院813床を確保病床とあるが、京都府はこれと異なる904床(110床の入院待機ステーションを繰入、妊婦等配慮を要する専用病床20床を除く)としており、使用率の分母となる。

33病院のうち、確保病床数を超えて患者を受け入れた病院が9病院(27%)あり、患者数は少なくとも199人にのぼる。確保病床数では明らかに足りない状況であったことがうかがえる。多いところで「11

図 京都府に望むこと(複数回答)



日77人「26日49人」を受け入れていた。また、搬送時に心肺停止状態だった例は7病院で22人にのぼった。

京都府に望むことについては、「入院医療コントロールセンターが必要な人を確実に入院できるように振り分けること」48%、「高齢者施設入所の方にも医療を保障できる体制整備」36%、「入院待機ステーションのフル稼働」「正確なデータの公表」が27%で

あった。「その他」記述では、▽補助金(機器整備費)の充実▽財政支援の強化▽入院公費請求に対して迅速な対応を望む▽訪問診療の充実、など(図)。

## 施設の半数以上で利用者が感染

施設については府内の特別養護老人ホーム(160)、老人保健施設(69)、障害者支援施設(49)の合計278施設に送付し、120施設が回

答(43%)。施設内での感染について、「利用者に出た」65施設(54%)、「スタッフに出た」85施設(71%)で、「出なかった」は20施設(17%)であり、利用者・職員双方に出たのは50施設42%となる。感染者の実数は利用者948人、スタッフ631人となる。

が、前者は703人、後者は148人と施設内治療者が大きく上回った。急変し入院できずに死亡した例も

た例が最も多い施設は7人、次いで4人のいづれも特養。救急車を出せないとされたのは2例とも京都府の施設であった。

## ある施設からの意見と要望

以下に、ある特養からの意見と要望を掲載する。この施設では即日入院した方、3回目の通院で入院した方、どちらも後に亡くなった方、施設内治療をしてい

た方が急変し救急搬送するも入院できず、3回目でも入院できなかったという経過

である。施設内での感染によるダメージを与えてしまふことが本場に申し訳なかつたです。

割と潤沢に揃えていたはずのPPEは複数のフロアで同時多発となったことですぐに底をつきそうでした。第6波の最高潮の時にクラスター化したことで特にガウンはすぐに入荷しない状況で、かき集めるのに奔走しました。

割と大きな定員の特養ですが、看護師は基準以上の配置をしているものの、複数フロアで同時多発したことで感染フロアごとに2人ずつの看護師を配置し、非感染フロアに2人を残すことで何とか乗り切ったわけですが、あと1カ所感染フロアが増えたら、診療所の看護師体制が崩壊してしまいました。介護職は看護師より配置人数が多いのは特養であれば当然ですが、看護師が不在の施設内療養はあつてはならないため、医療体制の不安定化を招く恐れのある「施設内療養」は

あつてはならない施策です。京都がまん防措置期間に介護施設に求めてきた「PCR検査」は検査後1週間待たなければ結果ができません。クラスター発生時における行政検査も京大病院の協力のもと実施できていたのですが、週7日稼働しているわけではないため、検査結果が出るまでの間の心情は「気が気ではない」感じでした。

は入院で経過をみるべき。入院先にて「カクテル療法」「抗ウイルス薬投与」等を試みたのちに、健康観察期間を満了する前に退院↓施設に戻るといふのは、まだあり得る話。それもなか施設内療養を容認すれば、医療ひっ迫時に必ず「入院できません」と言われかねない。それでも、医療ひっ迫が現実的に深刻化し、一般の患者に必要な受診を妨げることになるのであれば、「施設医と密接に連携できる医療チームの発足」「酸素濃縮器の無償支給」「治療薬の処方と治療開始後のフォロー」等を確立させることを約束すべき。さらにはそれでも症状悪化の場合には「連携した医療チームの責任のもと入院を100%確保」にすべ

# 第75回 定期総会

【第203回 定時代議員会合併】

日時 7月31日(日) ※原則、WEB開催  
場所 ホテルグランヴィア京都

総会 (Zoomミーティング) ..... 午後2時~4時

【第203回定時代議員会合併】  
◆2021年度活動報告・決算報告  
◆2022年度活動方針(案)・予算(案)、規約改正等

講演会 (Zoomウェビナー) ..... 午後4時15分~5時30分

参加対象 会員、家族、スタッフ

演題 「妖怪人間ベムは永遠に笑わない  
- 生きる意味は間(あわい)に -」

講師 京都大学大学院  
人間・環境学研究所 研究員



佐藤 泰子氏

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、懇親会は開催しません。定期総会と講演会は、原則WEBで開催します。  
※定期総会と講演会のご出席は、「京都保険医新聞」6月25日・7月10日の両号に同封するご案内にて、協会ホームページの申込フォームまたはFAXでお知らせ下さい。代議員の先生方には、別途ご案内をお送りします。

治療に要する医療体制や薬剤が豊富にあるわけではなく、どのくらい増える陽性者の数に対して、「コロナ感染により施設内で亡くなるか。そんな人がたくさん出てくるのではないか」という不安と恐怖の毎日でした。一定の治療等ができることはせめての救いになるはずが、治療が十分にできない生活施設に留め置かれる高齢者が衰弱するのを見ているしかなかったことが苦しかったです。職員においても、それぞれに生活があり、それぞれの人生があ

り、それぞれに生活があり、それぞれの人生がある。施設内での感染によるダメージを与えてしまふことが本場に申し訳なかつたです。

割と大きな定員の特養ですが、看護師は基準以上の配置をしているものの、複数フロアで同時多発したことで感染フロアごとに2人ずつの看護師を配置し、非感染フロアに2人を残すことで何とか乗り切ったわけですが、あと1カ所感染フロアが増えたら、診療所の看護師体制が崩壊してしまいました。介護職は看護師より配置人数が多いのは特養であれば当然ですが、看護師が不在の施設内療養はあつてはならないため、医療体制の不安定化を招く恐れのある「施設内療養」は

あつてはならない施策です。京都がまん防措置期間に介護施設に求めてきた「PCR検査」は検査後1週間待たなければ結果ができません。クラスター発生時における行政検査も京大病院の協力のもと実施できていたのですが、週7日稼働しているわけではないため、検査結果が出るまでの間の心情は「気が気ではない」感じでした。

は入院で経過をみるべき。入院先にて「カクテル療法」「抗ウイルス薬投与」等を試みたのちに、健康観察期間を満了する前に退院↓施設に戻るといふのは、まだあり得る話。それもなか施設内療養を容認すれば、医療ひっ迫時に必ず「入院できません」と言われかねない。それでも、医療ひっ迫が現実的に深刻化し、一般の患者に必要な受診を妨げることになるのであれば、「施設医と密接に連携できる医療チームの発足」「酸素濃縮器の無償支給」「治療薬の処方と治療開始後のフォロー」等を確立させることを約束すべき。さらにはそれでも症状悪化の場合には「連携した医療チームの責任のもと入院を100%確保」にすべ

## 市民公開 オンライン企画 長崎原爆被害の実相を聞く - 「黒い雨」 広島高裁判決を受けて -

原爆投下直後の「黒い雨」の被害について、昨年7月の広島高裁判決は雨に遭ったことのみを認定要件とし、疾病を発症していなくても被爆者であると認めました。国は上告を断念、菅首相(当時)は同様の事情にある被害者は救済するとの談話を発表しましたが、出てきた新たな指針案は疾病を条件とし、さらに長崎への原爆投下時に郊外にいた「被爆体験者」は対象外とされています。講演会では、長崎の「黒い雨」被害の実相について、原爆投下時に米軍が撮影したときの雲の映像や残留放射線のデータなどを基に長崎原爆の被害の解明を試みている大矢氏と、長崎被爆地域拡大協議会事務局長の山本氏に、それぞれお話を伺います。

日時 6月5日(日) 午後3時~5時  
講師 大矢 正人氏 (長崎総合科学大学名誉教授)  
山本 誠一氏 (長崎被爆地域拡大協議会事務局長)

主催 近畿反核医師懇談会  
【Zoomによる視聴の申し込み】  
右記QRコードもしくはアドレスから、前日までにご登録下さい。  
<https://bit.ly/3DmjcjH>



# 最新の「アトピー」性皮膚炎診療と「子どもに任せる」不登校診療で

## 小児科診療内容向上会を開催

協会は4月2日、京都小児科医会、鳥居薬品株式会社との共催で小児科診療内容向上会を開催。会場とウェブ配信の併用で開催され、合わせて112人が参加した(会場19人、ウェブ93人)。

### レポート 早野 尚志(左京)

小児科診療内容向上会でも「不登校」診療を、二つ、京都府国民健康保険団

もに「不登校」診療を、二つの講演が行われました。

京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学准教授の益田浩司先生より、21年12月に改定されたアトピー性皮膚炎診療ガイドラインに基づく講演が行われ、18年にガイドライ



講師の益田氏(上)と有井氏



となり、治療環境が大きく変化したため改定されたこととした。治療の最終目標は、症状

法が保険適用とされ、重症患者さんがその恩恵を受けられるようになったこととした。

多くの経験と実績を積み重ねてきた有井先生だからこ



### ひろば

標題の5本からなる論文集は、一橋大学の井伊雅子

教授の責任編集による特集号でありコロナ関係の論文

の一部が日経で紹介されていた。小生は全く知らな

かったが、首記のフィナンシャル・レビュー誌は財務

省財務総合政策研究所から発行される政策誌であり、

この研究所は財務省のシンクタンクとして、財政経済

に関する調査・研究を行っている。

この論文集(URL: https://www.mof.go.jp/pri/publication/financialreview/fr-list/fr148.html)の詳細

## 過剰医療と過少医療の実態—財政への影響

### フィナンシャル・レビュー148号特集号を読む

とにより費用の削減が得られると提案。そもそも序文

の問題意識にもあるように、日本の医療制度は効率

性にも公平性にも欠け「既得権益」にゆがめられてい

るので、それを正し予算削減を行うと主張している。

現行の健診では、過剰に糖

尿病の指摘はするが、その削減が可能と試算する。

またがん検診では、Lead time bias(微小がんを見つ

ける)と大きく異なる発育時間が寿命延長効果に算定され

る。一方過小は、中小企業の従業員ではアクセ

スが制限さ

れ、高リスク者でも異常の

指摘のみで医療に結び付け

られていない

点を挙げている。適正化で特定健診だけで500億円

の削減が可能と試算する。

またがん検診では、Lead time bias(微小がんを見つ



この論文集(URL: https://www.mof.go.jp/pri/publication/financialreview/fr-list/fr148.html)の詳細

は読んでいただくこととして、我が国の健診・検診、

肺がん検診や糖尿病を例にして、過剰医療と過少医療

を洗い出し、適正化することにより費用の削減が得ら

れると提案。そもそも序文の問題意識にもあるように、

日本の医療制度は効率性にも公平性にも欠け「既得権益」

にゆがめられてい

## 保険医年金 春の普及中

— 明日のための安心設計 —

### 1 春普及は6月20日まで

※期間中、大樹生命・富国生命の営業職員がご連絡をすることがあります。その節は、ご対応等よろしく申し上げます。

### 2 2020年度の配当率は0.148%

運用実績 **1.407%** (予定利率1.259% + 2020年度配当0.148%)

※予定利率(最低保証利率)  
2022年1月1日現在1.259%  
→7月1日から、1.140%

加入資格 **満74歳までの協会会員**  
(月払増口・一時払の申込は満79歳まで)

加入口数 月払 **1口 1万円 30口限度(30万円/月)**  
一時払 **1口50万円 1回につき40口(2,000万円)まで**

引受保険会社: 大樹生命・明治安田生命・富国生命・日本生命・太陽生命・第一生命



「複雑な客観的状況を描写し出すためには、いくつ

の医療インフラの指標とし

ながら真摯な議論をすべきである。その点で、我が国

「草刈り場として」かすめ

医療を破壊するのは許され

局に立つて国民に分かり易

医療は、米国や英国、EU

諸国より効率よく機能した

のである。その社会インフ

を考慮しない粗い比較であ

るが、明らかに少ない。社

会インフラとして我が国の

の事例や統計資料を取り出

すべきではなく(…任意の

5月15日現在)は興味深

の事例や統計を好きにな

引き出し、恣意的に利用し

される米国(人口約3.3

2%以上とするために国債

発行などに頼れば、防衛自

体が「我が国の脆弱性にな

りかねない」と主張し、「裏

付けとなる財政運営が不可

欠だ」と財

政制度等審議

会で指摘した

(4月20日朝

日新聞)。す

なわち、約5

兆円超を、どこからかす

め取る方式を提案したと考

えられる。まさに医療費を

はじめとする社会保障を

「草刈り場として」かすめ取ろうとしているのではな



# 反核京都医師の会 「40年のあゆみ」を発刊

## 多くの会員の参加を



核戦争防止・核兵器廃絶を訴える  
京都医師の会  
1982-2021  
40年のあゆみ

器を悪とする禁止条約が昨年発効したが、ロシアによる核の威嚇という厳しい局面にある。京都府保険

医師の会(PANW)にも所属し、両方を兼ねる全国でも稀有な存在として活動している。

核兵器を巡っては、世界の反核世論におされて核兵

## 米国の核実験に抗議し 「核なき世界」実現求める

米国の臨界前核実験を2021年の6月と9月に実施したことが報道で明らかとなったことを受けて、反核京都医師の会が抗議文を米国大使館に4月28日、送付した。

核兵器禁止条約が発効し、バイデン政権としてもなお、核戦力の近代化を推進する姿勢を示したものであり、核戦争に反対する

で、断じて許すことはできないとした。そのうえで、ロシアによるウクライナ侵襲、プーチン大統領の核兵器による威嚇に恐れ、「核には核を」の考えが強まることによる世界破滅のリスクを回避し、国際社会の切望する「核兵器なき世界」の実現に向けた取り組みを求めた。

## 文化 企画

### ファゴットの妙技に感嘆

協会は、新型コロナの対策を実施した上で、サロンコンサートを4月23日に開催。参加者は8人となった。以下、参加記を掲載する。

### サロンコンサートに参加して

阿部 純(宇治久世)



モーツァルトのファゴット協奏曲を熱演

コロナの収束見通せず、ではモントレの会場の構造さらにロシアのウクライナやデザイン性も合わせへの軍事侵襲も重なった中で、4月23日のサロンコンサートにこぎつけていただいた京都府保険医協会の皆様、そして4人の演奏家の方には、感謝申し上げます。

ファゴットの演奏は、個人的にもなじみが薄い楽器ではあったが、オーケストラの中で何だかおどけたような、狂言まわしのような独特の音色で不思議な存在感を放っているようだ。駆けつけて

いた。いつものように一曲演奏が終わることにピオラの金本さんがユーモアを交えながら明快な解説をしてくれたが、今回は楽屋裏のピアノでも披露してくれ演奏していただき、奏者との心理的距離が近づいたようだった。たぐいまれな集中力を保持しなくてはならない奏者に人間的な面を垣間見たようだった。

最後のモーツァルトのファゴット協奏曲は、何となく中野さん、やおら立ち上がったのカタツアにフラボー(と心の中で)上昇と下降を3オクターブで繰り返す飛躍力に脱帽、でもすごい練習量ではないかと思いついた。選曲や趣向の見事さもあり1時間という短い時間とは思えない充実感があり、こんな贅沢な時間をもっと多くの方に享受していただきたいと強く思った。来年こそは演奏後の語りも期待したいな。

## 「世界で最先端の宝物」 憲法集会で金平氏語る

日本国憲法が施行から75年を迎えた5月3日、憲法集会in京都が円山野外音楽堂で開催され約2500人が参加した。集会ではロシアの侵略を批判し、憲法9条を生かした外交こそ、日本が国際社会に貢献し同時に自国の安全を確保する道だと確信するとしてスピーチを採択。

のが日本国憲法と実感したと語った。先の戦争で多大な犠牲を払ったようやく得たのが、「戦争放棄」という世界で最先端の宝物」であり、ミサイルが飛んでこないような関係を他国とつくるのが憲法の役割だと強調。ウクライナ・シロツクで不安にかられている人々

に改憲を鼓吹する動きを「歴史から何を学んできたのか」と批判した。

## 「死んでたまるか」 3年が経過して

垣田 さち子 (西陣)

## 貧血

1週間入院の影響は想像以上だった。私は、子宮筋腫の大きいのを作った既往歴があり、毎月Hb:7gから14gを繰り返す日常で、欠乏したFe剤を経口からと静注で積極的に治療した。栄養を考えた三度の食事にも気を付け、蛋白質、鉄分を多く含む食品を摂ることを心がけた。生理の後はフラットとす

ることもあったが大して気にしなかった。着実に治療で回復したから。治療するにつれて元気がみなぎってくる感覚は快感だった。だがあの貧血状態で毎日よ

く頑張っていたものだ。馴れないうちに、動くお母さんが強く、左手・左足が重く感じられる。重心動揺、眼振、耳鳴りも悪化。健康を考えると、複数の女性に「鉄欠乏性貧血」があった。「しんどくないですか? 治療したらうんと楽になりますよ」と勧めても反応はイマイチのことが多かった。不調の自覚がないのだから無理もない。受診、加療した人には喜んでもらえたけれど。

今度も、確かに血液検査の数値は1週間正常値に戻ったが、全身状態は別だった。左半身の感覚障害

が強く、左手・左足が重く感じられる。重心動揺、眼振、耳鳴りも悪化。健康を考えると、複数の女性に「鉄欠乏性貧血」があった。「しんどくないですか? 治療したらうんと楽になりますよ」と勧めても反応はイマイチのことが多かった。不調の自覚がないのだから無理もない。受診、加療した人には喜んでもらえたけれど。

「脳卒中治療ガイドライン2021」  
1. 在宅で生活する生活期脳卒中患者に対して、歩行機能を改善するために、もしくは日常生活動作(A DL)を向上させるために、トレッドミル訓練、歩行訓練、下肢筋力増強訓練を行うことが勧められる(推奨度A エビデンスレベル高)

と、運動が第一に推奨されている。貧血と運動機能の低下でダメージは大きかったが、一番はメンタル面の後退だった。

春の叙勲で、上原春男氏(左京)が旭日双光章を、勘田紘一氏(宇治久世)・岸本良博氏(舞鶴)が瑞宝双光章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。



講師の金平氏

## 6月のレセプト受取・締切

○は受付会場設置日、◎は締切日  
受付時間: 基金9時~17時30分  
国保9時~17時  
労災8時30分~17時15分  
業務時間: 基金9時~17時30分  
国保8時30分~17時15分  
労災8時30分~17時15分  
(※) オンライン請求  
5~7日 8時~21時  
8~10日 8時~24時

基金・国保(※)	8日(水)	9日(木)	10日(金)
	—	○	◎◎
労災締切	電子レセプト		
	オンライン請求	電子記録媒体	紙媒体
	10日(金)	10日(金)	10日(金)